

キャンプファイヤー

| | |
|---------|--|
| 場 所 | スクールキャンプ場：大ファイヤー場・小ファイヤー場 レクリエーションキャンプ場：ファイヤー場 トレーニングキャンプ場：ファイヤー場 |
| 所要時間 | 2時間 ※準備・後片付けの時間は除く |
| 実施可能期間 | 5～10月 |
| 料 金 | 井桁：5段組 7,030円（芯材4束付） |
| 当施設にある物 | トーチ（棒、針金）、井桁材、芯材、灯油、揮発防止のブルーシート 耐火グローブ、バケツ、ライター、衣装セット、音響設備、音楽CD 巻物「迎え火の詞」「送り火の詞」 |
| 団体準備物 | 【団体】進行プラン、懐中電灯 【個人】トーチ用古タオル（2人につき1本）、出し物やゲーム等に必要な物 |

実施要領

【当日までに】…プログラムの計画 P48【モデルプラン】参照

【当日】

①準備

- ・井桁組み（約30分間）
- ・トーチ作り（約1時間）
- ・ファイヤー用具準備
- ・リハーサル・・・ファイヤーの進め方や歌の練習、
諸注意（トーチの持ち方など）

②キャンプファイヤー

- ・（例）第1部（儀式の火）・第2部（親睦の火）・第3部（儀式の火）

③後片付け

- ・終了直後……用具の後片付けおよび返却、井桁の消火
- ・翌朝……井桁の燃え残りの後片付け

【留意点】

- ①火のついた井桁には、ファイヤーキーパー以外は近づかない。
- ②トーチは両手で持ち、ひじをのばして、斜め45度に傾けて持つ。
- ③分火の際は、火のついたトーチは動かさず、火をつけたい方のトーチを火に近づける。
- ④退場し火を消すまでは、周りの人との距離を十分にとる。

【井桁の組み方】

①井桁を組む。

※四角に脚をセットしてから、井桁を組む。

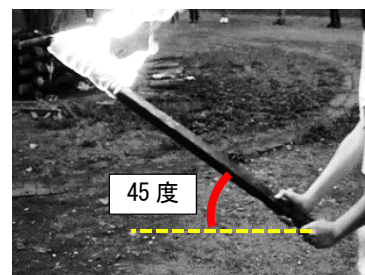
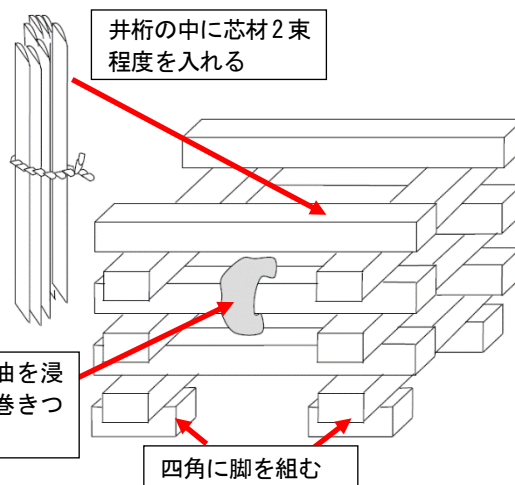
②井桁の中に芯材2束程度を入れる。

※芯材は4束使用する。

③点火場所にタオルを巻きつけ、灯油をかける。

④井桁全体に灯油をかける。

⑤残りの2束はファイヤー中に使用する。



【モデルプラン】

～第1部・儀式「迎え火」～

| | |
|-------------|--|
| ①入場（無言無灯火） | シングルサークル。80人以上はダブルサークル。 「遠き山に日は落ちて」1番の歌詞を歌い2番からハミング。 |
| ②火の神、火の女神入場 | ハミングを合図に入場して、火の女神が先導して円内を一周する。 |
| ③火の神『迎え火の詞』 | 火の女神は、火の神を照らす。 詞が終わったら、火の女神は火の神の前に進み出て、片膝をつき火を渡す。 |
| ④火の守『誓いの言葉』 | 片膝をついて火の神から火をもらい、立ち上がって、トーチを高くかざし、誓いの言葉を述べる。（1人ずつ順番に行う。） |
| ⑤点火（女神と火の守） | 火の女神は片膝をついて火の神から火を受け取り、火の神の「点火」の合図で、火の守とともに中央の井桁に火をつける。 |
| ⑥歌 | 「燃えろよ燃えろ」の歌を歌う。 |

～第2部・親睦～

| | ①小学生低学年向き | ②小学生高学年・中学生向き | ③青年向き |
|-------------------|--|--|--|
| 緊張緩和 (アイスブレイク) | ・ジャンケンチャンピオン | ・燃えろ燃えろ赤い火 ・集合ゲーム ・ウルトラじゃんけん | ・燃えろ燃えろ赤い火 ・ホップステップジャンプ ・タコとタイ |
| サークルブレイク | ・ライオンとカバ ・氷鬼ごっこ ・ナンバーコール ・猛獣狩りに行こうよ | ・木こりとリス ・おんぶジャンケン ・知恵の輪 ・野原で手をたたけ | ・おんぶジャンケン ・うんちっち体操 ・ダンスリトルバード (ダンス) |
| サークルにもどす | ・ジャンケン列車 ・キャッチ ・ふたごのオオカミ大冒険 (ダンス) | ・進化ゲーム ・ホップステップジャンプ ・ジェンカ(ダンス) | ・進化ゲーム ・マイムマイム(ダンス) |
| クライマックス | ・アブラハムの子 ・1分間ゲーム | ・1分間ゲーム | ・セブンジャンプ ・1分間ゲーム |

～第3部・儀式「送り火」～

| | |
|------------|--|
| 採火 | 火の女神が真ん中の井桁から火を採る。 |
| 火の神『送り火の詞』 | 火の女神は火の神を照らす。 詞が終わる次第、火の女神は火の神の前に進み出て、片膝をついて火を渡す。 |
| 火の守『誓いの言葉』 | 火の守は、片膝をついて火の神から火をもらい、立ち上がってトーチを高くかざし、誓いの言葉を述べる。（一人ずつ順番に行う。） |
| 分火 トーチサービス | 火の女神は、片膝をついて火の神から火を受け取る。火の女神は火の守とともに、参加者全員に火を分ける。 |
| 退場 | 火の女神、火の神、参加者の順番で退場する。 BGM「今日の日はさようなら」 |
| 消火 | つどいの広場でトーチを消火する。 |

【第2部の構成のポイント】

- ①参加者はどれくらいか。（年齢構成はどうなのか）
- ②会場の大きさはどれくらいか。
- ③準備物は整っているか。
- ④全体のゲーム・ストーリーはできているか。

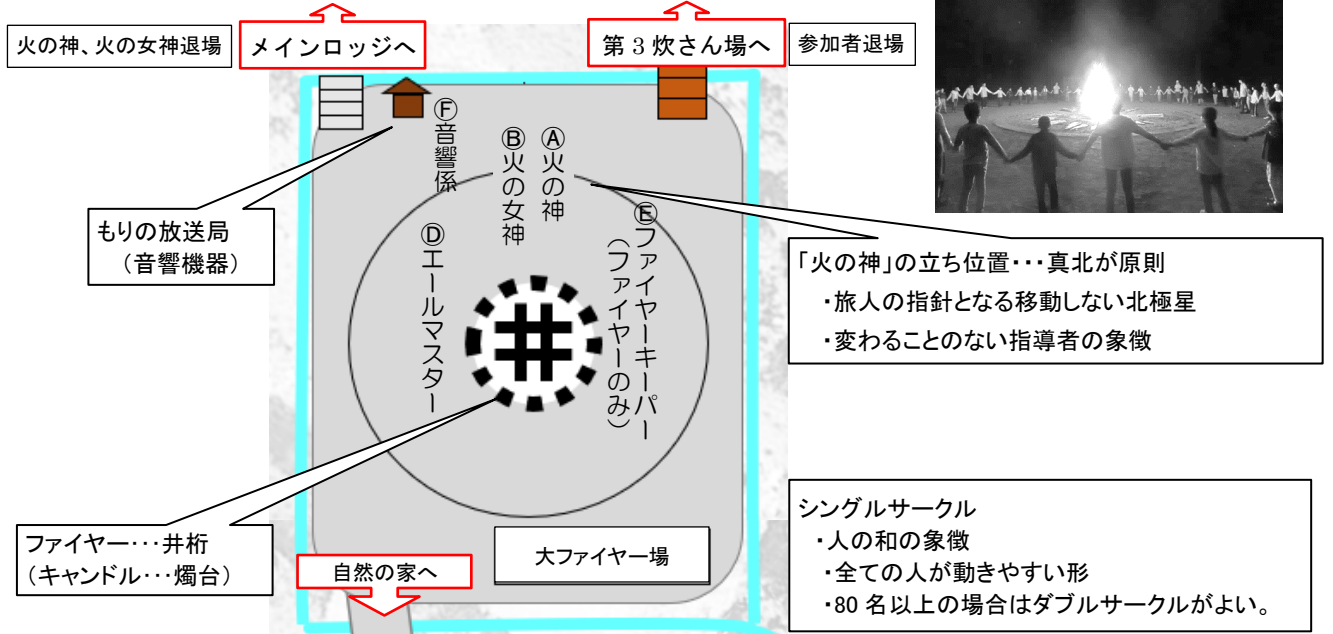
※ゲーム・ストーリーを組み立てる場合、起・承・転・結を頭に入れて雰囲気徐徐に高めて、ドーンと盛り上げてクライマックスにもっていきましょう。

ストーリーができていないからといって、無理にやらないほうがいいでしょう。

決して、飽きるほど引っ張らないことです。「もっとやりたい」「やってほしい」「続けてほしい」そんな中で終わることができれば最高です。



【ファイヤー（キャンドルサービス）隊形（例）】



【ファイヤー（キャンドルサービス）スタッフと役割（例）】

| スタッフ | 役割 | 確認事項 |
|----------------|--|--------------------------------------|
| ①火の神（1名） | 点火指示、迎え火の詞、送り火の詞 (団体長が「火の神」となるのが望ましい) | ①入場 ②迎え火の詞 ③誓いの言葉 ④送り火の詞 ⑤退場 |
| ②火の女神（1名） | 火の神の先導、点火と分火 | ①入場 ②迎え火の詞 ③点火 ④採火 ⑤送り火の詞 ⑥分火 ⑦退場 |
| ③火の守（4名） | 誓いの言葉、点火 | ①誓いの言葉 ②分火 |
| ④エールマスター（1名） | 司会進行 | ①第1部～第3部の進行確認 |
| ⑤ファイヤーキーパー（2名） | 火の維持（最後まで上手に火を焚く） | |
| ⑥音響係（1名） | 曲の放送、マイクの準備 | ①CDの確認 ②マイクテスト |
| ⑦衣装係（1名） | 火の神、火の女神の着付け | ①衣装の確認 ②ライターの確認 |
| ⑧誘導係（1名） | プレファイヤーの実施、参加者の誘導、火の女神の誘導 | |

【火の神の詞（例）】

| | |
|-------|---|
| 迎え火の詞 | <p>標高1625mの経ヶ岳のふところにいだかれている、奥越高原青少年自然の家に夜のとぼりが、今静かにおろされようとしている。われは〇〇〇（団体名）の諸君のためにつかわされた火の神である。ここ青少年自然の家できびしい中にも、楽しく充実した活動を送っている諸君よ！しばらくの間、耳を傾けるがよい。</p> <p>暗いしじまの中に、空いっぱい広がる星を眺め、谷川のせせらぎを耳にしなが、遠い昔、赤く燃える火を囲みながらみな先祖は何を語ったろうか。今この闇の中で、神のもつ火を静かに見つめてもらいたい。火は、人間だけに与えられた貴重な宝物である。今日の文明も火によって築かれた。</p> <p>第一に、あかあかと燃えるこの火は、みにくいものを一切焼き尽くす情熱の源である。</p> <p>第二に、暖かさや明るさを与えてくれるこの火は、愛情の源である。</p> <p>第三に、闇夜の中の一灯として、道しるべの役を果たす。</p> <p>この教えから、苦しみにうち勝つ情熱をもち、人を愛し、自己を磨き、豊かな未来を生き抜くたくましい人となってほしい若い諸君の幸せを願い、情熱、闘志、協力と団結、友愛の心をこめて、皆に光を与える。</p> |
| 送り火の詞 | <p>今宵あかあかと燃え続けた火を囲みながら、歌や踊りの中に若い情熱をたぎらせ楽しく過ごしたこの時間も、今まさに終わろうとしている。たとえ、この火は消えても、お互いの心の中に燃える火はいつまでも消えることなく、皆のこれからの生活に励ましと勇気を与えてくれるであろう。</p> <p>この火をしっかりと見つめよ！！そして、心にしっかりとときざめ。</p> |

【火の守 誓いの言葉（例）】

| | |
|------|---------------------------|
| 規律の火 | 私たちは、きまりを守って生活することを誓います。 |
| 協力の火 | 私たちは、力を合わせてがんばることを誓います。 |
| 奉仕の火 | 私たちは、喜びと感謝の気持ちで働くことを誓います。 |
| 友愛の火 | 私たちは、友だちをたくさんつくることを誓います。 |

【トーチの作り方】

| | | |
|--|--|-----------------------------------|
| | | |
| <p>① トーチ棒を選び、燃えカスや針金を取り外す。</p> | <p>② 持参のタオルを縦に半分に切り、さらに半分に折る。</p> | <p>③ トーチ棒の上にかぶせる。</p> |
| | | |
| <p>④ 15 cm くらい巻きながら下ろしてくる。</p> | <p>⑤ タオルの最後の部分を針金でしばる。</p> | <p>⑥ 針金の両端をねじった後、タオルのすそに入れこむ。</p> |
| | <p>★針金の端は危なくないようにタオルの下に折り込む ★タオルの下 1/3 くらいを針金できつくしばる</p> | |
| <p>⑦ 2 人組で、タオルを巻いた部分が動かないかをチェックする。</p> | <p>※タオルが動いたり、すそが垂れていたりすると、使用時に大変危険なので注意する。</p> | |

